

河野多麻（おほの） 國文學者、文學博士。明治二十八年十月八日靜岡縣濱松市生れ、昭和六十年一月二十四日歿（一九八五年）一（九六五）。舊姓中村、本名たま。大正七年東京女子高等師範學校卒、昭和六年東北帝國大學法文學部國語學科卒。十二年實踐女子專門學校教授とあり、哲學者河野與一と結婚。十八年辭職。二十八年あかね會（女流日本文學研究會）發起人代表となる。二十九年武藏野女子學院短期大學教授、四十一年武藏野女子大學教授。

著書に『（原）本上上日記―異本研究並に校註』（中村多麻名、昭和十年五月五日岩波書店）、『（原）つばき物語』（校訂、一・昭和二十一年十月十五日岩波書店、一岩波文庫）（宇津涼物語）全二冊（校注、一・昭和二十四年十一月五日）、（一・二十六年五月六日、二・二十七年十一月五日岩波書店）『（原）本古典文學大系』（『（原）つばき物語傳本の研究』（昭和四十八年十月八日岩波書店）等。『回想河野與一多麻』（昭和六十一年七月六日）『河野先生の思い出』刊行会編刊、岩波ブックスセンター『信山社秘蔵』（おほの）。

